

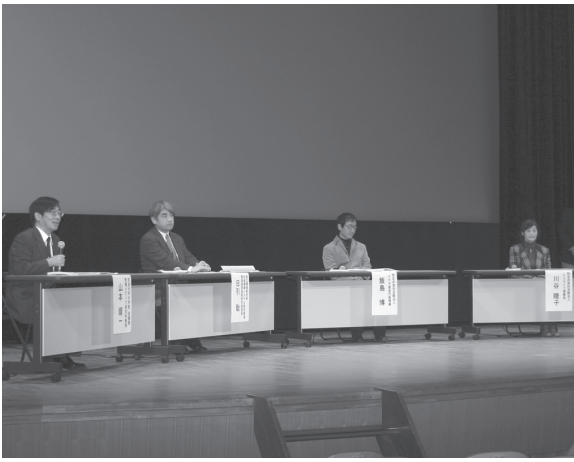
# 話題

## 街にひろう

### 深刻な問題に目を背けないで！

2月16日、市中央生涯学習センターで「うしく環境シンポジウム」が開催されました。

開会式では、池辺勝幸市長が沼田利光市議会議長とともに「もっ



たいない」の精神を理解し、地球温暖化防止やごみの減量に心掛けるなどの「もったいない運動宣言」にサインしました。

「子どもも大人もまちぐるみで始めよう！」と題した飯島博さん（特定非営利活動法人アサザ基金代表理事）の講演では、牛久市の社会的特徴、谷津田などの牛久の地域特性、地球温暖化には何が問題なのか、などを大きなスクリーンを使って説明しました。飯島さんは、「牛久では4年前から学校ビオトープから始まるまちづくりが行われていて、子どもも大人も地域ぐるみで環境問題に取り組み基盤がそろっています。牛久の言葉で循環型社会を世界に発信していきたい」と話していました。

また、「子どもの未来に、いま、私たちにできること」をテーマにしたパネルディスカッションでは、コーディネーターに山本順一さん（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授）、パネラーに日引聡さん（国立環境研究所環境経済政策研究室長）や川谷睦子さん（特定非営利活動法人エコライフ理事長）などを迎えて、活発な意見交換が行われました。

### 区民会館の備品整備で コミュニティ活動を推進

竹の台行政区（村山壯区長）では、財団法人自治総合センターからコミュニティ助成金事業の250万円を受け、映像・音響機器、スポーツ用品、健康・福祉用品（血圧・体重・車イス）などを、コミュニティ活動の振興を図るために購入しました。



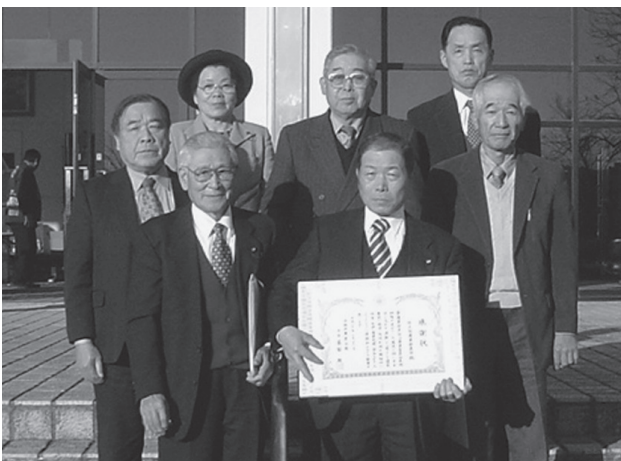
同センターは、全国自治宝くじの売上金の一部で、地域のコミュニティ活動とその健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報のために助成事業を実施しています。



### 農業委員会が 県農業会議から表彰

牛久市農委の農地パトロール活動牛久市農業委員会が取り組んでいる「農地パトロール活動」が、茨城県農業会議から表彰されました。これは、農業委員が行っている優良農地の確保と有効利用を図るための農地利用の監視活動が評価されたものです。

農地パトロールは、農地への不法投棄や遊休農地などの確認・調査、違反転用の防止と早期発見、転用許可後の状況調査など、毎月2回実施しています。



## 牛久警察署と「暴力団等の排除に関する協定」を締結

この協定は、公共施設の使用、公共工事の入札参加、市営住宅の



入居などに関し、利用者、業者などが暴力団員であるかどうかを警察に照会し、情報提供を受けるとともに、暴力団などから不法行為などを受けるおそれのある場合は、警察が支援するなど相互の連携を定めたものです。協定の締結は1月28日、牛久警察署の柳生実署長(現県警警務部教養課長・写真左)を市役所に招いて行われ、柳生署長は「市と情報交換しながら反社会勢力である暴力団の一掃を図りたい」と話していました。

## みんなで集う楽市楽座



遊ぼう広場の「くるくる田舎」

3月9日、市総合福祉センターで「第2回うしく大好きゆめまちメッセ」が開催されました。開会式を前に、「振る舞い餅つき」が行われ、あんこときなこのお餅が来場者に無料で振る舞われました。午前中の「ゆめまち楽市」では、商工会ふるさと市、かんたん・バッククッキング、スポーツ吹き矢の体験やボランティア・市民活動団体バザーコーナーなどが催されました。大勢の家族連れなどにぎわいました。午後の「ゆめまち楽座」では、口笛世界大会第2位の漆原

## 来場者が前回を上回る！ 第2回小川芋銭展

2月15日から29日まで、シャトーカミヤ本館2階で「第2回小川芋銭展」が開催されました。

今回の展覧会は、牛久市所蔵の「老楊と荒村」をはじめ、62点の作品のほとんどが初公開であったこともあり、遠くは沖縄や仙台からも15日間約5000人の方々が芋銭作品の魅力



を満喫、芋銭作品への関心の高さが示されました。

紳壹氏による口笛コンサートが行われ、優しい口笛がセンターホールに響いていました。歌声サロンでは橋本実さんのギターに合わせ皆で懐かしい歌を口ずさみ、会場は温かな空気に包まれました。

## 文部科学大臣賞受賞おめでとう！



昨年11月21日、牛久小学校PTAが「平成19年度優良PTA文部科学大臣賞」を受賞しました。

この賞は、同校PTAの、家庭・地域・教職員が緊密に連携をとり、よりよい環境の中で児童の健全な発達と福祉の増進を目的とした地道な活動(朝の読み聞かせ、親子学習会や親子奉仕作業、朝ごはんとあいさつ運動など)が認められたものです。同校PTAは、平成8年にも日本PTA全国協議会長賞を受賞しています。

# 思い出はみんなの宝物



春らしい穏やかな陽気の中、市内では3月11日に中学校、19日に小学校で卒業式が行われました。下根中学校では、厳粛な雰囲気の中、「第26回卒業証書授与式」が行われ、154人の生徒たちが、一人ひとり都賀和男校長から卒業証書を受け取り、3年間の学校生活に別れを告げました。(右写真)

卒業生代表の青木友理さんは、「体育祭に向けて心を一つにし、38人39脚でゴールした瞬間の達成感は今でも忘れられません。下根中の仲間と出会えた奇跡は、みんなの宝となりました」と答辞を述べました。会場では多くの生徒が大粒の涙をこぼして仲間との別れを惜しみ、その顔には新たな世界へ旅立つ決意も感じられました。

# 理科教育優秀校に牛久三中

## 牛久三中

2月26日、水戸市の総合福祉会館で「第24回幡谷教育振興財団賞贈呈式」が行われ、理科教育優秀賞を受賞した牛久第三中学校(宮本弘校長)の代表者が出席しました。この賞は、科学への関心を高め、理科教育の発展に寄与することを目的に設立され、創意工夫を凝らして理科教育を推進している学校に贈られるものです。

牛久三中は学校全体で環境学習に力を入れており、牛久沼の環境調査を続けています。



# ちょっと休憩

ぶれいく

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール [shimin@city.ushiku.ibaraki.jp](mailto:shimin@city.ushiku.ibaraki.jp)



## 皆さんのお便りから

☆:「シャッターチャンス」



野鳥が好きで、いつも自宅に来る鳥を観察しています。今回は「春つげ鳥」ウグイスにカメラを向けました。なかなか姿を見せてくれない鳥でしたが、待つこと数時間、やっとカメラに収めることができました。目がとてもきれいです。(上写真)

田宮町・茅場さん



南・犬塚さん

## 短歌・俳句・川柳コーナー

春嵐 天まで砂塵 巻き上げし

刈谷町・横山さん

丘の上 大仏ありて 青き踏む

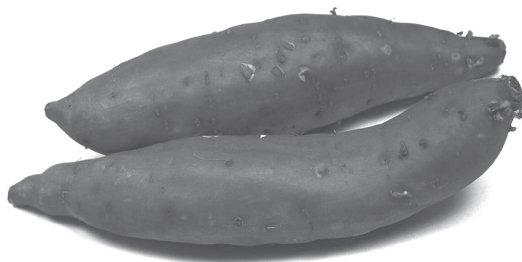
栄町・増田さん

夕映えに ひな壇と子等 見えし窓

田宮・岡村さん

友が編む ぬくもりのある 冬帽子

さくら台・二国さん



**地域の若者が、地域の農作物を使って、地域の特産品を作る**

(写真右上から時計回りに)メタモルフォーゼ2007の様子、サツマイモ、「いもまん!」を食べる岡田小学校の児童、「いもまん!」の製造(株式会社中村屋つくば工場提供)

**学校、企業、行政との連携で**

牛久市は県内でも有数の落花生とサツマイモの名産地で、特に落花生の作付面積は県内第1位を誇ります。それらの地場産農作物を生かして特産品を開発し、生産と消費拡大を図ろうと、市ではひたち野東のつくば調理製菓専門学校(今井恭子校長と協議を重ね、昨年9月にメタモルフォーゼ2007と題して、同校で料理コンテストを開催しました。

校の卒業作品展で、来場者の投票により「うしくピーナツスティック」と商品名が決定しました。

一方、「いもまん!」は、筑波南桂工業団地内の株式会社中村屋つくば工場(菊池照雄工場長)の協力を得て、製品開発を進めてきました。その結果、3月7日には卒業記念給食の一品として市内小中学校の卒業生に約1500個を提供しました。

このコンテストには、同校の学生たちの自由な発想から生まれた19点が出品され、牛久市商工会料飲業部会長の池辺伊三男審査員長ほか7人の方々が、それぞれプロの目で商品化への可能性がある作品を選出しました。その結果、クッキーとピーナツをアレンジしたピーナツタルトと、サツマイモを餡に使った「いもまん!」の2つが商品化に向けて動き出しました。

「いもまん!」は中華まんの生地「いもまん!」の焼印が押されています。岡田小6年の浅野諭さんは「かっぱの絵も牛久らしく、味もクリーミーでおいしかった」と話していました。今年度は地場産の農作物で作る「牛久の日」の給食に合わせ、市内の全校児童生徒に提供する予定です。